

恵那市主催の健幸フェスタが開催

恵那市腎友会

恵那市の「まきがね公園」にて健幸フェスタ（スローガンは「めざそう！健幸寿命日本一」）が令和7年6月1日（日）に開催されました。

このイベントは平成27年から始められ今年で9回目を迎えます。

健康や福祉に関する展示、体験、物品販売など58の団体が参加し、天候にも恵まれたこともあり8,000人の市民の方にご来場頂いたとの事です。

私（西尾）は午前11時からの「腎臓に学ぼう」のイベントコーナーで「当事者の方のお話～透析にならないために～」のお話しをさせていただきました。最初に市立恵那病院の内科部長の市川先生が「慢性腎臓病（CKD）ってどんな病気？」についてお話しをされ、私は約25分間の持ち時間で体験談（どんな経緯で透析に至ったのか？）を中心に、次いで市立恵那病院の主任管理栄養士の田中さんが「腎臓にやさしい食事」と題して講演をされました。

公演の間、ご来場の皆さんは立ち去る方は一人もいらっしゃらず、熱心にメモを取られながら話に聞き入っておられました。

恵那市では一昨年は「広報えな」（月刊誌）で腎臓病の特集を組むなど、東濃5市のなかでも慢性腎臓病について高い関心を持っておられ、少しでも透析患者が少なくなるよう取り組みがなされており、恵那市腎友会としてもこの取り組みに微力ながらご協力していきたいと考えております。



（写真中央が恵那市腎友会会長 西尾明さん）